

牡鹿半島に統合が決まっていた小学校がありました。

3月11日は卒業式の練習をしていたそうです。

海拔10mの崖に建てられた石巻市立谷川小学校は2階建てで、

校舎は全て津波にのめられました。

幸い生徒達は高台に非難し、全員無事でした。

全校生徒14名のうち、半数は別の地域や街に移り

現在7名は近くにある大原小学校の教室を借りて授業をしているそうです。

1月8日（日）に日本を美しくする会本部の阿部さん、千種さん、

そして宮城掃除に学ぶ会の太田さんと共に

その谷川小学校の校舎内を拝見しました。

2階部分は瓦礫撤去は行われていましたが、

1階部分は手付かずの状態でした。

先日の第8回被災地に学ぶ会（1月20日～22日）でお世話になった際、

牡鹿VC代表の遠藤さんと今後の活動について再度お話をしました。

今年3月に正式に谷川小学校統合式のセレモニーが執り行なわれるそうです。

その前に想いを込めて美しい状態にする必要があります。

この谷川小学校は以前マスコミにも取り上げられ

ある意味において有名になったそうです。

したがって関わりたいと希望している団体が多数あるとも伺いました。

私たちは「人知れず」ということに大きな値打ちを感じていますので、

逆にマスコミに取り上げられたくはありません。

そこで、私たち教師や教師を目指す学生が

この谷川小学校を綺麗にさせて頂く事に深い意味があること、

そして、継続的に牡鹿半島で活動をしていること、

日本を美しくする会の考え方を

谷川小学校校長宛てに私が手紙を書き、

遠藤さんの言葉を添えて手渡しして頂くことになりました。

実現するかどうかは分かりませんが、

現時点では、大阪便教会（第9回被災地に学ぶ会）、

埼玉便教会、東京掃除に学ぶ会、山形掃除に学ぶ会から

バスを出す準備をして頂いています。

何分、日程が近づいていきますので、  
順序が逆であるとは承知しておりますが、  
各地のリーダーの方々、  
日本を美しくする会の各地区ブロック長とご相談の上、  
2月25日（土）に集結して頂きたく存じます。

また、定員45名のうち残り少なくなっておりますが、  
JR尼崎駅出発の被災地に学ぶ会の参加申込も受け付けております。

追伸

ご参考までに校長先生宛の私の手紙を添付致します。  
宜しければご高覧下さい。

大谷育弘 拝

+++++

★第9回被災地に学ぶ会

2月24日（金）19時発（JR尼崎駅）

→25日（土）活動

→26日（日）9時解散（JR尼崎駅）

※前回よりボランティア保険加入料を490円自己負担して頂きます。

なお、現在加入済の分は3月31日まで有効です。

参加申込はメールでお願いします。

①名前（ふりがな） ②年齢 ③所属 ④紹介者名 ⑤ボランティア保険加入の有無

★第10回被災地に学ぶ会

3月23日（金）19時発（JR尼崎駅）

→24日（土）活動 宿泊

→25日（日）活動

→26日（月）9時解散（JR尼崎駅）

※3月に関しましては、牡鹿の状況を見て（宿泊なし）日程を決定致します。

★震災を語り継ぐ会（仮名）

3月26日（土）午後～ 大阪産業大学ホール

- ・被災地活動報告
- ・門脇小学校ドキュメンタリー映画上映
- ・鹿妻小学校避難所元代表浅野仁美さんの講演
- ・その他

+++++

石巻市立谷川小学校 学校長 千葉幸子様

突然のお便りお許しください。私は現在、兵庫県尼崎市立尼崎高等学校にて教諭をしております大谷育弘と申します。NPO認定法人 日本を美しくする会に所属しており、大阪便教会（教師の教師によるトイレ掃除に学ぶ会）の世話人しております。

この度の東日本大震災の後七月より、毎月一度チャーターバスを出し、仲間教師や学生と共に石巻・牡鹿半島へ復興支援のお手伝いをさせて頂いています。昨日（一月二十日〜二十二日）にも牡鹿ボランティアセンターを通して、前網浜にて瓦礫撤去作業をさせて頂きました。この会の名前を「被災地に学ぶ会」（ボランティア活動に行くのではなく、被災地という場所をお借りして、生きを学ばせて頂く会）と名づけました。今回で八回目になり、延べ参加人数は396名（重複あり）、そのほとんどが教師や教師を目指す学生です。

被災地と約1000km離れた大阪とでは震災に対しての温度差を日々感じております。新聞やニュースでの情報だけではなく、十三時間バスに乗り、実際に自ら現地で汗を流し、感じたことを自分の言葉で語り継いでいくという一つの役割もあるうかと存じます。八月と九月は当時避難所になっておりました石巻市立鹿妻小学校の体育館に宿泊させて頂き、学習支援や夏祭りを企画し子ども達から大人の方にも喜んで頂きました。その際、逆に避難者の方々から多くのことも学ばせて頂きました。避難所体育館を撤収する際に、全国の掃除に学ぶ会の仲間が集結し想いを込めて、約百二十名でピカピカに磨き上げさせて頂くこともできました。宿泊させて頂いた避難所の体育館が、学校の教育施設へと戻っていく様子は、教師として感慨深いものでもありました。

この度、牡鹿ボランティアセンターの遠藤太一様より、谷川小学校の事を伺いました。また、実際に校舎の中も拝見致しました。三月に統合式を執り行なわれることも伺いました。谷川小学校に通っていた子ども達や先生方、卒業生、また地域の方々の想いを拝察致します。もしも許されるのなら、その谷川小学校を私たちに綺麗にさせて頂けないでしょうか。何度も参りました牡鹿半島の小学校をぜひ私たちにピカピカに磨き上げさせて頂きたく存じます。参加する教師の中には若手の小学校の教師も多数います。いろんな想いを語り継いで行くことも大切な役割だとすれば、全国の教師仲間、また日本を美しくする会のメンバーにも呼びかけて二月二十五日に集結させて頂きたく存じます。誠に勝手なお便りだとは重々承知しております。なにとぞよろしくお願い致します。

平成二十四年一月二十三日

日本を美しくする会 大阪便教会 世話人代表 大谷育弘 拝